

## 進む畜産バイオテクノロジーの取り組み

高品質肉用牛の増産と酪農家の経営改善のため、受精卵移植に取り組んでいます。

こども村に飼養されている  
スーパーカウ



受精卵を採取中です



受精卵による産子



借り腹牛に移植



採取した受精卵の品質を  
判定しています



採取された受精卵

受精卵移植は、昭和62年度から取り組み始め、これまで、凍結保存技術や体外受精卵作製技術・雌雄判別技術など、新しい技術も取り入れ、受精卵の有効活用を図ってきました。これからも、畜産農家との連携を図り、受胎率の向上に努めて行きます。

また、平成6年度から3か年にわたり米国からスーパーカウ（高能力乳用牛）を導入し、さらには、平成9年度からは、国内の肉用牛生産地から肉質に優れた繁殖雌和牛を導入し、その受精卵の活用により、改良のスピードアップを図っています。

現在、スーパーカウについては、2世・3世が誕生しており、今後、この2世の受精卵移植も利用して乳用牛の一層の改良を目指します。



## 担い手の育成

### ねばりと応用力を備えた第3期生

本市農業の将来を担う若い農業経営者を育成するため実施している“ひろしま活力農業”経営者育成事業は、研修生を受け入れ始めて3期目に入りました。

第3期の研修生は、矢野慎也さん(23)と三登宏之さん(24)です。本センターの研修ほ場で、野菜づくりの基礎技術の習得に若い汗を流しています。慣れぬ実習が続いたときは、さすがに疲れた表情を見せますが、翌朝まで持ち越すことはないようです。さまざまな経験を積み重ね、明日の若き農業経営者に向け初志貫徹! 第3期生!



農業機械操作実習中の第3期生

※ **ただいま第4期研修生を募集中!** (締め切りは8月31日まで)

### 女性の認定農業者が広島市で初めて誕生

女性では初めて、沖本和恵さん(安佐南区)が認定されました。沖本さんは、ハウレンソウ・コマツナなどの生産拡大を図るため、優良品種の導入や規模拡大を視野に入れ経営改善に取り組まれています。

認定農業者制度は、農業経営の改善を進めようとする農業者が作成した計画書を市長が認定し、この計画が達成されるよう支援していく制度です。平成11年度には、沖本和恵さんほか9名の皆さんが認定を受けています。

☎振興部指導課構造改善係 ☎845-4347



沖本和恵さん

## 個性ある農業の展開

### おいしい“ひろしまそだち”を提案します!

— “うまいんじゃけえ” 個性派野菜開発事業 —

“ひろしまそだち”のキーワードの一つである「おいしさ」に着目した個性派野菜の開発に、今年度から取り組みます。①地方野菜や「おいしさ」などの特長を持つ個性的な野菜の栽培・商品化技術の検討や、②テストマーケティングによる消費動向などの調査研究を行います。

現在、おいしいトマト・キュウリ・赤ネギなどの開発に取り組んでいます。こうした情報は、インターネットでもご覧いただけます。

ホームページ: <http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/>



### ウォンテッド

— サトイモ「深川早生」を探しています。 —

昭和20年代まで栽培されていた、食味のよい在来種の「深川早生」は収量が低いため、最近ではほとんど生産されなくなっています。深川早生の特徴は、①葉耳が黒い②イモは丸型③早期収穫可能なタイプです。

当センターでは、早期収穫・多収穫が期待されるバイテク技術を深川早生に活かし、個性ある地場産品の一つとして普及して行きたいと考えています。深川早生の種をお持ちの方、あるいは以前栽培されたことのある方は、ご連絡ください。

☎振興部園芸課 ☎842-4421



## 環境にやさしい農業の推進

### 剪定枝堆肥の利用

街路樹の剪定枝を堆肥化する試みが行われています。

現在、この堆肥約200tを利用した土づくりが、佐東地区など約30戸の野菜生産農家で試験的に始まっており、資源のリサイクルによる農業利用への効果が期待されています。



200t/年の剪定枝堆肥を利用

## 「農」のある住みよい地域づくりの推進、市民と農業・農業者との交流

### 田んぼの詩が聞こえる心のふるさと

#### —安佐北区白木町下井原地区—

下井原地区は、平成2年度、ほ場整備に着手したのを契機に、地域ぐるみで自然環境や生態系に配慮した景観づくりに取り組んでいます。現在、地区の幹線農道は水路と合わせ10mの幅をとり、茶の木の垣根や玉石敷の水路など散策や水遊びが楽しめる環境となっています。

また、伝統的な農村景観を再現するために、昔ながらの水車や灰屋（肥料小屋）が手作りで復元されました。なつかしい農村景観のなかで、「アイガモ米オーナー」を迎え、5月の放鳥会や11月の収穫祭など四季を通じたイベントが行われ、市民と農村との活発な交流が続いています。

こうした、地域ぐるみの景観づくりが優良事例として高い評価を受け、平成11年度「農村アメニティ・コンクール」（国土庁主催）の「優良賞」を受賞しました。



地元で復元された水車小屋



神ノ倉山頂から望む下井原地区



ふれあい水路

### ほ場整備地区法面で花苗の植え込み

#### —安佐北区安佐町鈴張地区—

鈴張地区では、花のある美しい地域づくりを進めるため、ほ場整備した土地の法面にシバザクラやオレガノの苗を植えました。

これらの苗は、地元で昨年秋に挿し木をして大切に育てたもので、早く法面が花いっぱいになるのが待たれます。



法面を花でいっぱいに

### 私達の集落排水処理施設は私達の手で!

集落排水処理施設は、現在6地区で供用しています。それぞれ、地元の管理組合が処理施設の清掃、使用料・分担金の納入通知書配布、使用人数変更の取りまとめ、施設使用の普及啓発などを行っています。地域の大切な施設として、地元の皆さんが管理の一端を担っています。



清掃及び場内見学風景（三田処理施設）



「施設ができて水路等の水がきれいになり、魚やさわ蟹が見られるようになって皆さん喜んでいきます」

佐々木公雄  
三田地区処理施設管理組合長



# ……みどり意識の啓発……

## 広島市みどりの少年団入団式

広島市みどりの少年団は、昭和51年に結成され、これまで8,200名が活動に参加しています。

毎年、サツマイモ植え、県北でのキャンプ、林業体験、巣箱づくりなどの活動を行っています。現在、団員は60名で、広島市内の小学校の4～6年生が参加しています。

4月23日に入団式を行い、30名の4年生が入団し、今後3年間継続して活動します。入団式終了後、名札づくりと植物観察を行いました。

名札は、輪切りにした桜の木に学校名と自分の名前を書いて首にかけようになっています。団員達は、自分で作った名札を誇らしく見せ合っていました。



見て見て！桜の木で名札を作ったよ！

## 値し物ご案内

### 森林公園 昆虫館

#### 「美しい色や形・オーストラリアの昆虫たち」展

7月1日(土)～10月31日(火)

黄金色に輝くキンイロクワガタや、世界最大級のチョウ、トリバネアゲハなど美しい色彩と独特な形態を持ったオーストラリアの昆虫を展示します。



黄金色に輝く  
ラトレイクキンイロクワガタ

#### 昆虫教室

- 7/30日 カブトムシの飼い方
- 8/6日 クワガタムシの飼い方
- 8/13日 クワガタムシの標本づくり
- 8/20日 トンボ・セミの標本づくり
- 8/27日 カブトムシの標本づくり

#### 特別展示「秋の鳴く虫」

9月9日(土)～10月9日(祝)

コオロギ、スズムシ、クツワムシなど秋の夜長を楽しませてくれる虫たちの音色と姿を間近に聴き、見るすることができます。



スズムシ

☎森林公園(☎899-8241)

### 花みどり公園

#### ガーデニング展

4月29日(祝)～11月12日(日)

来園者の皆さんにサルビアなど季節の草花を中心とした新しいガーデニング素材を提案しています。展示に使用している品種の購入を希望する方も多くみられ、今後は、人気品種を農家へ普及していく予定です。

☎花みどり公園(☎837-1247)



ガーデニング展



サルビア